

#934 PC228USマシンガイダンス装着機とPC200i稼働で施工スピードが加速



■■ 現場詳細 ■■ 静岡県 沼津市戸田

二級河川大川国土強靱化対策工事

【施工範囲】 10,000m² 【施工土量】 切土3,546m³

【ソリューション】 スマートコンストラクションアプリ/Smart Construction 3D Machine Guidance

【稼働建機】 PC200i/PC228USマシンガイダンス装着機

ICTをもっと活用したい！



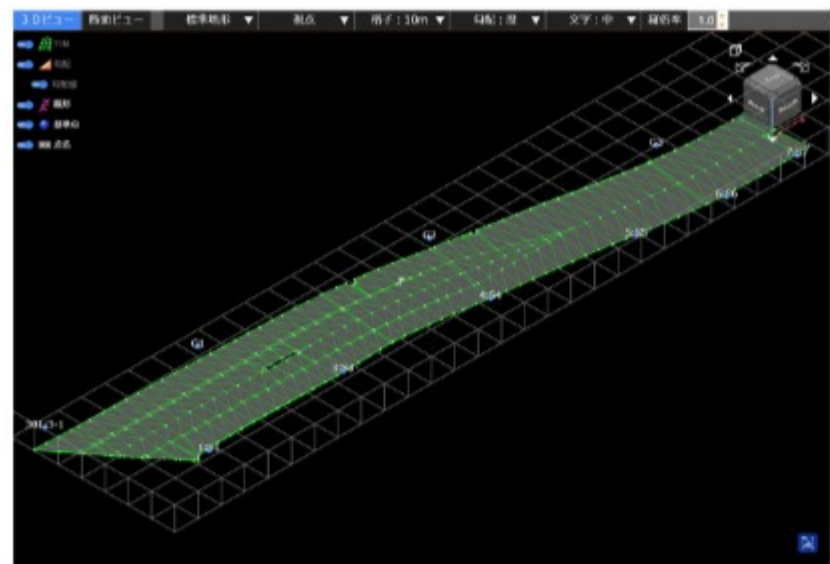
■■ 導入経緯 ■■

(株)尾鷲組 代表取締役 尾鷲真人さん

ICT施工を始めて今回で3現場目となりますが、当初より河床掘削の工事でICT施工をしております。最初は設計の考え方がよく分かっていなかったのですが、搬入路の確保や土砂の搬出量など、ICT施工の取り組みやすいICT活用仕事を落札し、PC200iを導入したことがICT施工の第一歩でした。

一度試したらICT建機でラクに施工できることは十分に理解し、もっとICTを活用していかなければ！と感じました。ICT建機に関し、IMCでなくても安価で取り付け可能なSmart Construction 3D Machine Guidanceで十分にICT建機として使用できると知り、PC228USのマシンガイダンス装着機を購入しました。河川の工事が多いですが、ICT活用現場でなくても普段使いで活用していければと思います。また今後は自社で3Dデータを取得し、設計で仕上げられるような、内製化へ向けた方向へ進んでいけたらと考えております。

MCとMG併用でメリット増



■■ 導入効果 ■■

(株)尾鷲組 主任 羽入厚さん

3回目なので、施工の流れは理解しておりますが、今回、河川の下流部分の掘削になるので、潮の満ち引きで、時間帯によっては掘削箇所が水中になってしまいます。水につからない箇所は自社機のPC228USマシンガイダンス装着機、水中部分はPC200iで掘削をしました。熟練のオペレーターなので、IMCでもMGでも十分に施工することができ、2台で使用することで土砂の積込みもスピーディーに行えました。また、建機のモニターと実際アプリ上ではどうなのか？掘削土量が合っているのかを常に確認していました。水中箇所の掘削においては、施工履歴でのデータ証明ができるので、次の日に同じ箇所をバケットでなぞる時も、建機が高さを測ってくれるので、安心して掘削することができました。ICT建機は高さが建機任せでいいし、検測することもないこと、手元作業員が不要なので、施工管理の手間がかからないことが本当にありがたいです。丁張りレスな分、人工は1名減、施工日数は1/3削減することができました。今後は自社機のSmart Construction 3D Machine Guidanceをもっと使いこなし、新たな活用方法を発見できたらと思っております。

(株)尾鷲組 様

1967年 創業 約50年の実績があり、施主様の要望にきめ細かく応えることを信条とし長いお付き合いを大切にしております。親切、丁寧、安心をモットーにしております。

<http://owashi.co.jp/>



代表取締役 尾鷲真人さん



主任 羽入厚さん